

# 松平造酒助江戸在勤日記

特別陳列

# まつだいらみきのすけえどごさいきんにつき 江戸在勤日記

# 武士の絵日記

# みぎのあけ



2023年

2月18日[土]～4月9日[日]

【開館時間】 9時30分～17時（入館は16時30分まで）

【休館日】 毎週月曜日、2月24日（金）、28日（火）、3月14日（火）、22日（水）

【観覧料】 常設展観覧料でご覧いただけます。一般300円（250円） 20歳未満・学生200円（150円） 65歳以上・高校生100円 ※（ ）は20名以上の団体料金

※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料 ※神奈川県立の美術館・博物館有料観覧券の半券提出により団体料金になります。

【交通】 みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分 JR「桜木町駅」新南口（ICカード専用）から徒歩5分  
市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分 〒231-0006 横浜市中区南仲通5・60 Tel: 045-201-0926 Fax: 045-201-7364

※感染防止対策として、密を避けるため入場制限を行う場合があります。

※催し物は変更・中止になる場合があります。詳細はホームページをご覧ください。【主催】神奈川県立歴史博物館 【協力】JSPS 科研費JP18K00951

<https://ch.kanagawa-museum.jp/>





上野社内花見風画 (松平造酒助江戸在勤日記 28冊 当館所蔵)



特別陳列

# 松平造酒助 江戸在勤日記

## 「武士の絵日記」

松平造酒助久茂(まつだいらみきのすけひさしげ)は庄内藩(現山形県鶴岡市周辺)の上級武士で元治元(二八六四)年八月より約一年間江戸に在勤し、江戸市中取締を主導する任にあたりました。造酒助は江戸在勤中に五十冊にもおよぶ日記を記し、国元の家族へ送っています。この日記にはかわいらしい挿絵がふんだんに描かれ、その挿絵から造酒助の生活やその時の心情を見ることが出来ます。さらに近年には、造酒助の国元である鶴岡市郷土資料館に、造酒助が同時期に国元へ送った百通を超える書簡が収蔵されていることが判明し、日記と書簡の研究から様々なことが解明されました。本展示では、造酒助の江戸における生活や職務、造酒助が見た幕末江戸の様相を紹介します。

【関連行事】 ■は事前申込制、申込多数の場合は抽選

### ■連続古文書講座

「松平造酒助江戸在勤日記を読む」

日時:2月26日(日)、3月5日(日)、12日(日)  
14時~15時30分

講師:寺西明子(当館学芸員)  
根本佐智子(当館非常勤学芸員)

会場:当館講堂

定員:50名(1回ごとのお申込みも受け付けますが、連続講座のため、全3回お申込みの方を優先します)  
受講料:無料(ただし、当日の常設展観覧券が必要)  
申込締切:1月31日(火)(必着)

### ■記念講演会

「松平造酒助江戸在勤日記の魅力」

日時:3月19日(日)14時~15時30分

講師:古宮雅明氏(元当館学芸員)

会場:当館講堂

定員:50名  
受講料:無料(ただし、当日の常設展観覧券が必要)  
申込締切:2月21日(火)(必着)

### ○学芸員による展示解説(申込不要)

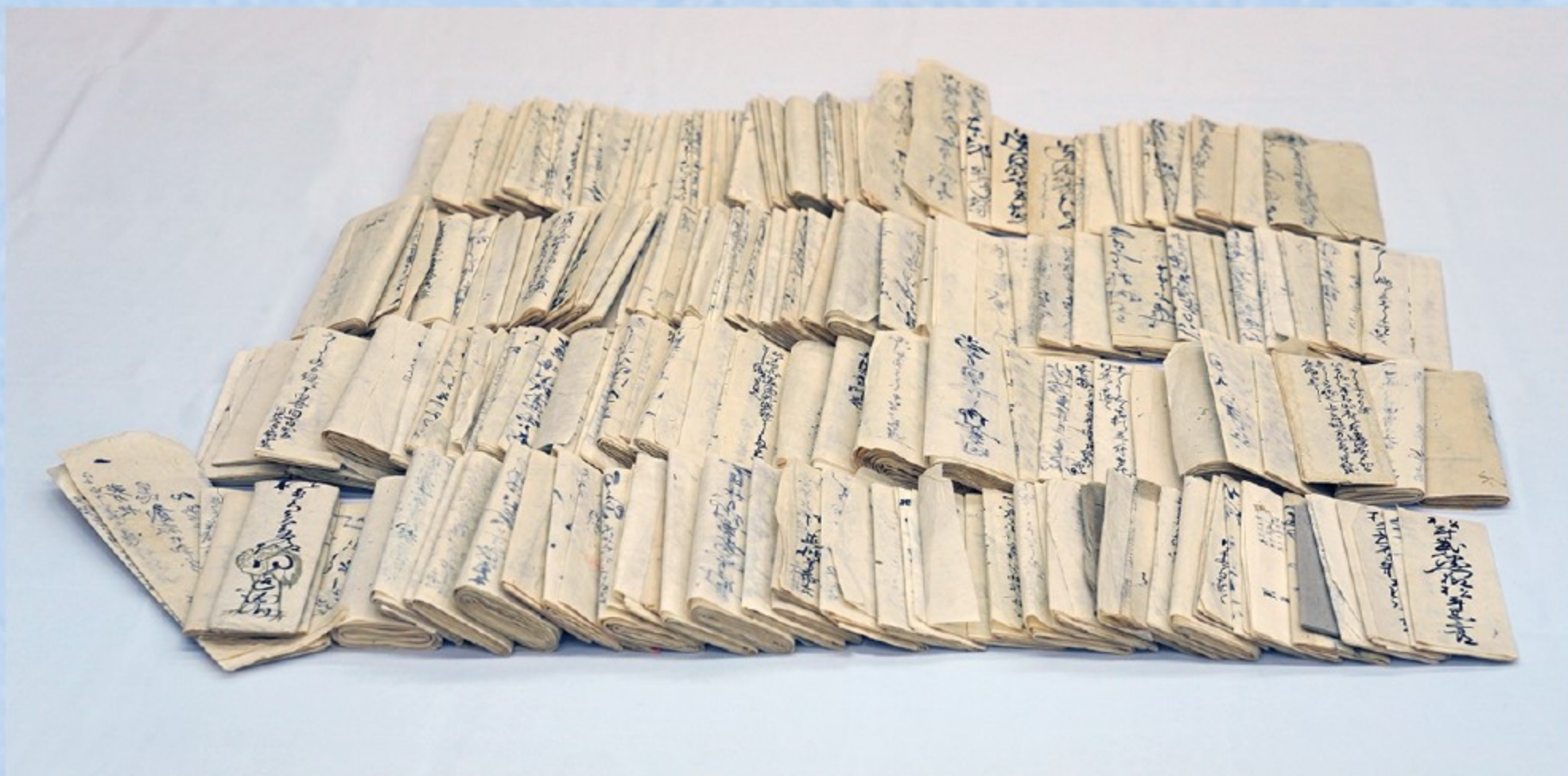
2月18日(土)、3月4日(土)、26日(日)、4月2日(日)

時間:13時30分~14時

参加費:無料(ただし、当日の常設展観覧券が必要)  
※特別陳列会場内ではなく当館講堂にて実施予定  
※先着50名(当日13時受付開始)

「往復はがき」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・行事名を明記のうえ、当館へお送りください。または、ホームページの「催し物案内」の申し込みフォームからお申し込みください。1件で複数名(最大4名まで)申し込まれる場合は全員分の氏名を明記してください。(1件で複数の催し物の申込みはできません。催し物毎にお申し込みください。)

宛先 神奈川県立歴史博物館 企画普及課  
〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60



松平武右衛門文書 造酒助書簡 (鶴岡市郷土資料館所蔵)



雑煮を食べる造酒助  
(松平造酒助江戸在勤日記 21冊 当館所蔵)



松平造酒助江戸在勤日記 全冊 (当館所蔵)



【次回展示のお知らせ】(予定)

## あこがれの祥啓

—啓書記の幻影と実像—

2023年 (仮称)  
4月29日(土・祝)~6月18日(日)

祥啓筆 花鳥図



東都於大橋西瓜を割図 (松平造酒助江戸在勤日記 44冊 当館所蔵)

